

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」

甲子園短期大学 実施報告書



実施主体 幼児教育保育学科 I 回生

実施内容 平成25年10月13日の大学祭にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

関連授業内(保育実習指導・社会的養護等)において、保育現場で考えられる虐待の例を挙げ、身近に起こりうる虐待の社会的背景についてなど理解を深めた。また、保育者としてどのような意識や知識が必要かを、学生同士で話し合う機会を設け意見を出し合った。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

事前学習終了後、班に分かれてポスターの制作、配布用のオレンジリボン作りなどを行った。また、虐待防止の啓発ビデオを見たり、近年に起きた虐待のデータなどを参考に調べ学習を行った。

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

- ・学習を通して、母親の孤独から虐待が始まることを知りました。
- ・暴力以外にも虐待が存在することを知った。他人事ではないと思った。
- ・虐待されていない私には虐待された子どもの気持ちはわからないけれど、行き過ぎた愛情から虐待につながることもあることを知って、身近にあるものと思った。
- ・子どもは未来の希望。何十年後かには「虐待」という言葉がなくなっていてほしいと思います。
- ・虐待から目をそらさず、正しい知識を持って、心の目で見ることが大切だと思った。

- ・虐待はする側の問題だと思っていたが、するほうにもいろいろな事情があったり背景があったりすることが分かった。虐待してしまう親の気持ちを考えることも大切だと思った。
- ・虐待を認識していない人への啓発が大切だと思った。

